

2018

初秋

マイホームデザイン だより

今月のスポットライト

- コーヒー店改装レポート
- 家づくり無料勉強会
- 新築見学会のご案内
- 旅日記



残暑お見舞い申し上げます

社長のひと言

今年は、日本全国猛暑日が続き大変ですね。

体調崩していませんか？水分は進んで摂取しましょうね。よく言われていますが、熱中症対策にはこれが一番の予防策のようです。（原稿を書き始まってから秋めいた風が吹き、最近は朝寒さを感じる位になりました。）

弊社事務所も朝8時前からエアコンをONしています。設定温度は26℃～27℃、夜は遅い時は8時までの就業になりますので、それまで付けっ放しです、自宅も犬っこたちが居るので、快適な温度に設定しこちらも付けっ放し、車中もエアコンです。命に係わる暑さですので進んでエアコンを付けましょう！と最近は公共報道機関までもアナウンスしてますね。震災後は節電しましょうの大合唱でしたが、この変わり様はなに？猛暑だから？電力会社の陰謀？（笑）

昨今の住宅事情もあり、良質な既存住宅をもっと増やし欧米並みに住宅そのものの評価をし、住宅の価値を高めるために、住宅のリフォームに関する補助金制度が沢山あります。一部ご紹介します。

代表的な補助金として“**長期優良住宅リフォーム推進事業**”既存住宅の耐震性、劣化対策、省エネルギー性、維持管理の実施を求められ最大300万円の補助金が出ます。このリフォームは既存住宅の大部分を解体、造り変えが必要になりハードルが高いですが、全体のリフォームを考えている方には最適な制度です。

“**高性能建材による住宅の断熱リフォーム支援事業**”高性能窓、ガラス、断熱材、これらを用いて断熱改修工事を支援しています。最大120万円の補助額です。

それから“**次世代省エネ建材の導入支援**”高性能断熱建材、断熱ドア、断熱窓等の省エネ建材の導入に対して補助が行われます。最大200万円の補助額で既存住宅の断熱性能、省エネ性能の向上を図る為です。

ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー)化による住宅における“**低炭素化促進事業**”いわゆる“**ゼッチ住宅**”と言われるもので、簡単に説明すると、太陽光発電をのせて電気代ゼロにしましょうと言う政策で、最大70万円の補助金を受けられます。

このほか自治体のリフォーム支援制度があり、かなり面倒ですが知っている方は得します。当然わたしたちが書類申請の代行をさせて頂いておりますが、注意点はあくまでも補助金ですので、受理されないと思えませし、工事も着工できません。全て予算使いきり制度なので、早いもの勝ちとなります。

既存住宅を活用するため今、国は躍起になっているようです。

遠藤 光二

